

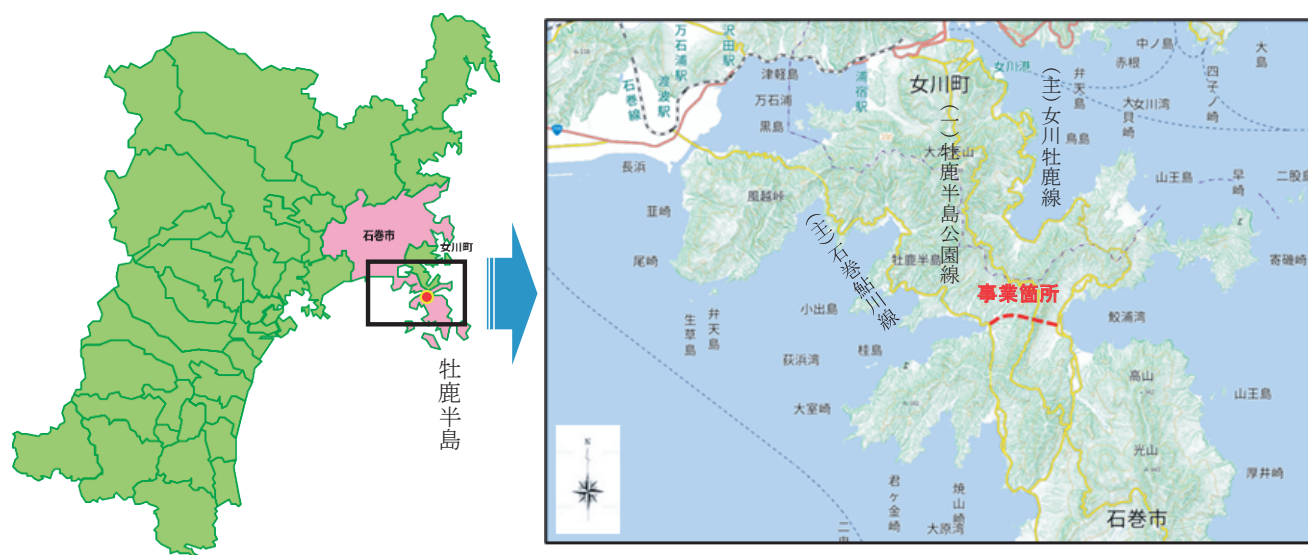
主要地方道女川牡鹿線 大谷川浜小積浜道路改良事業 ～災害に強い道路ネットワークの構築に向けて～

宮城県 土木部 道路課

1. はじめに

主要地方道女川牡鹿線は、宮城県の東部に位置する女川町の一般国道 398 号を起点とし、隣接する石巻市大原浜の主要地方道石巻鮎川線に至る牡鹿半島地域の観光や産業振興を支える重要な路線であり、第 3 次緊急輸送道路として防災上重要な役割を担っております。

本事業は、急峻な地形に阻まれ、地域住民や観光客の円滑な往来が困難となっている牡鹿半島を東西に接続し、地域間の連絡強化や、石巻市街地及び三陸道へのアクセス向上を図り、牡鹿半島地域の観光及び産業振興に寄与するとともに、近年激甚化・頻発化する災害時においても寸断されることのない、信頼性の高い防災道路ネットワークを構築するため、平成 29 年度から延長 $L = 1,840\text{m}$ （うち、トンネル延長 $L = 820\text{m}$ ）のバイパス整備を行っているものです。

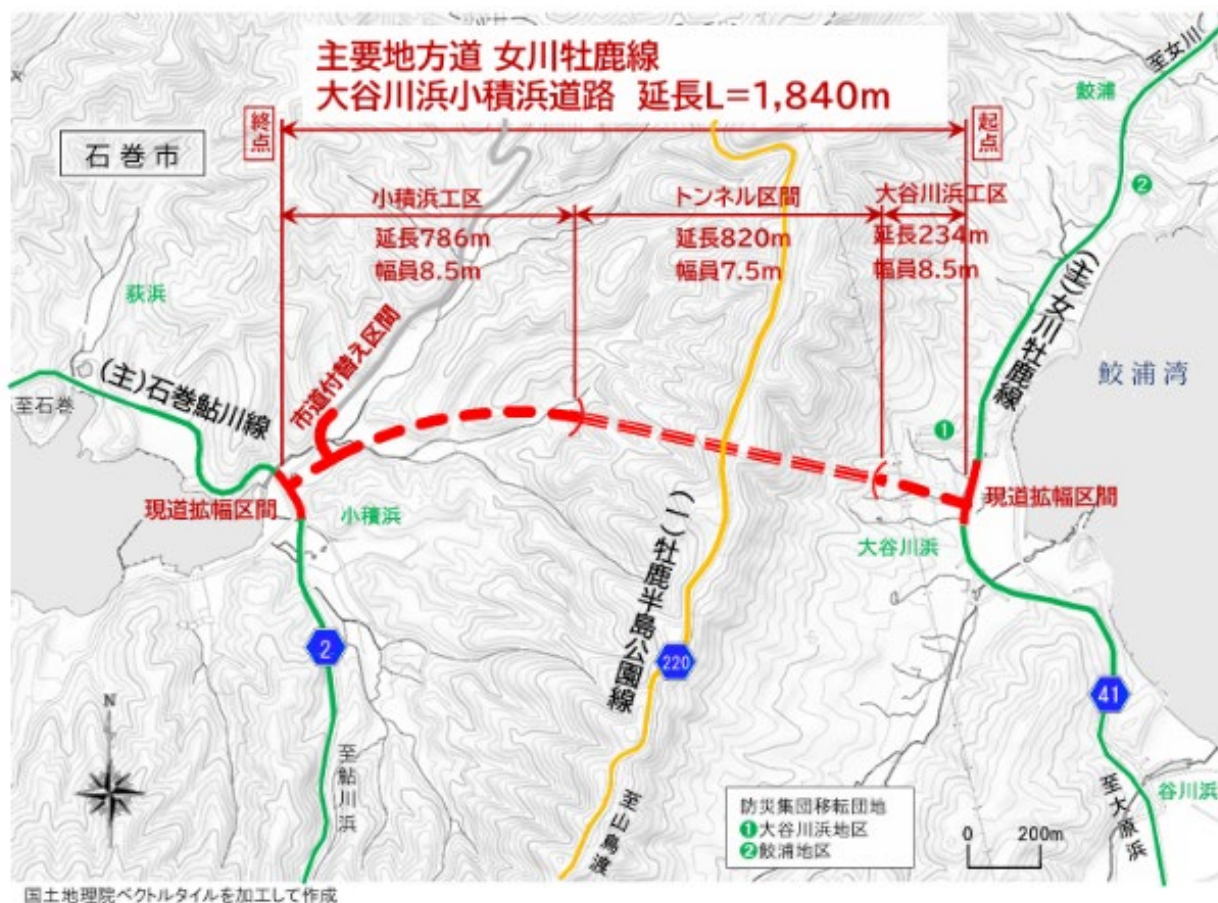


国土地理院地図タイルを加工して作成

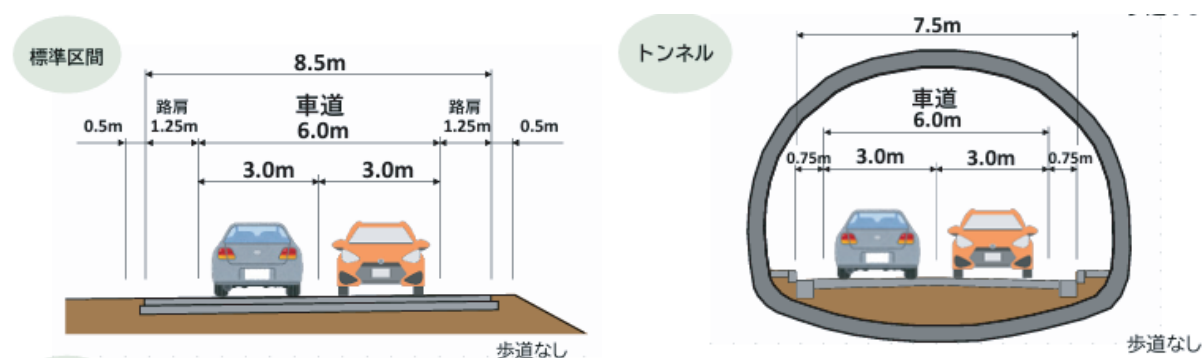
図－1 事業位置図

2. 事業の概要

- 道路規格 第3種第3級
- 延 長 L = 1,840m（うち、トンネル延長 L = 820m）
- 幅員構成 6.0m（8.5m）
- 総事業費 約 76.8 億円
- 事業期間 平成 29 年度～令和 9 年度（予定）



図－2 計画平面図



図－3 標準断面図

3. 想定される事業効果について

本道路整備により、以下の効果が期待されます。

1) 車両通行の安全確保

幅員狭隘かつ線形不良箇所が解消され、道路利用者の安全で安心な自動車交通が確保されます。

2) 緊急輸送道路としての機能強化

大型車等の安全なすれ違いが可能となるため、災害発生時における緊急輸送道路としての機能強化が期待されます。

3) 安全で安心な暮らしと利便性向上

円滑な自動車交通が確保され、幅員狭隘、線形不良区間が解消されるため、通過時間の短縮が図られることから、牡鹿半島の地域間交流の更なる活性化が期待されます。(走行時間は約10分短縮されます。)

4) 防災機能の向上

バイパス整備により、現道に隣接した地すべりや土石流の警戒区域の崩壊による通行止めリスクが解消され、防災機能の向上が期待されます。

5) 広域道路ネットワークの強化

急峻な地形に阻まれ、地域住民や観光客の円滑な往来が困難となっている牡鹿半島の東西を接続し、地域間の連絡強化や、石巻市街地及び三陸縦貫自動車道へのアクセス向上を図り、牡鹿半島地域の観光及び産業振興に寄与するとともに、近年激甚化・頻発化する災害時においても寸断されることのない、信頼性の高い防災道路ネットワークが構築されます。

6) 救急医療の安定化

緊急車両の走行時間が短縮し、救急医療施設への搬送時間も短縮されることで、救命率の向上など、救急医療体制の安定化が期待されます。

7) 環境への配慮

車両の走行時間が短縮され、CO₂排出量の削減が期待されます。

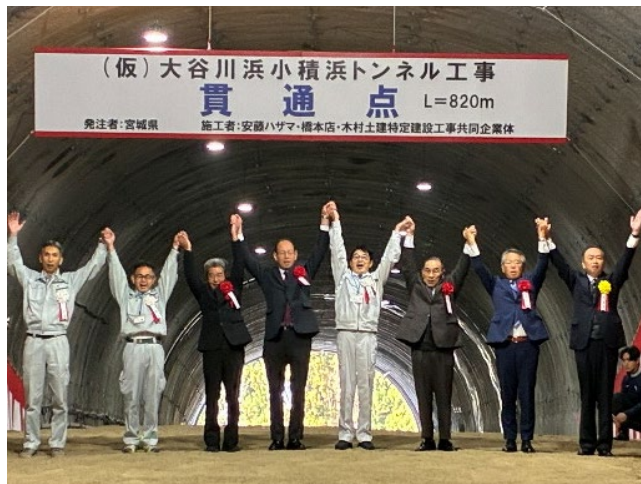
4. 現在の施工状況

トンネル区間については、令和7年11月に貫通し、今年度は舗装工事及び設備工事を行う予定で事業を進めています。

大谷川浜工区及び小積浜工区の道路改良工事については、令和5年度より着手し、現在、切土・盛土工を実施しており、引き続き、早期の完成に向けて工事を進めてまいります。



写真－1 トンネル区間施工状況



写真－2 トンネル貫通式



写真－3 大谷川浜工区施工状況



写真－4 小積浜工区施工状況

5. おわりに

本路線は、牡鹿半島地域の観光や産業振興を担う重要な路線であるため、安全で利用しやすい新しい道路の一日も早い完成に向けて、引き続き、工事関係者と共に安全管理に努めながら、鋭意工事を進めてまいります。